

【五月人形を公民館に飾りました】

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらずに、不安な日々が続き窮屈な暮らしを強いられています。少しでも心が潤い、癒しを感じてもらえたらとの思いを込めて、昔から子どもの成長を願って飾られている『五月人形』を、公民館玄関に飾りつけました。



子どもに災厄や病気が降りかからず 健やかに成長するという祈りを込めて、端午の節句に五月人形を飾るといふことらしいです。

また、人形は、子どもの身代わりとして扱われ、子どもに訪れるあらゆる災いを 代わりにになって背負ってくれると言い伝えられています。

子どもが少なくなった畑野町に、加えて学校の休校が続く、子ども達の姿を見かけなくなっていますが、五月人形の言い伝えのとおり、ウィルスを追い払ってくれて、元気な子供たちの姿が学校に戻ってくることを願って飾っています。

外出自粛が要請され、たくさんの方に見に来てくださいとはいいますが、鎧飾りの雄々しい人形で公民館の雰囲気も変わっていますので、機会があれば公民館玄関を覗いてください。

不急不要の外出は控えて、特に、人混みのところへ出向くことは避けた行動をとるなど、一人ひとりが感染予防の対策を心掛けて、この非常事態を乗り切りましょう。



(桜満開の畑野小学校)